



自宅の電気を再生可能エネルギーに切り替えてから、まもなく一ヶ月になる。POW JAPANの「Change is POWER 選ぼう、自然のエネルギー」キャンペーンが始まったのが7月3日。すぐに電力会社を選んでウェブサイトから申し込み、翌月頭には切り替えが完了。こうして8月以降のわが家には、晴れて自然エネルギー由来のクリーンな電気が流れている。

切り替え手続きはカンタンで、「電気ご使用量のお知らせ(検針票)」と決済用のクレジットカードを用意して、ウェブの申し込みフォームに記入するだけ。間違えないよう慎重にタイプしたとしても、所要時間は5分に満たないだろう。

利用開始までは1週間から6週間が目安だという。その間、届いたメールを1、2本確認するぐらいで、切り替え日に立ち会う必要ないし、一時的な停電状態になることもない。その日の朝に「契約開始のご連絡」というメールが届くだけで、なににごともなかったように切り替わっていた。

電気のような主要ライフラインの転換というわが家始まって以来の一大事業にしては、あっけないほどコトが済んでしまった。思えばケーブルテレビや光回線の申し込み、ケータイの機種変更などの手続きは、もっと煩雑でストレスフルだった。それらに比べてもカンタンさは際だっている。なにしろ、実働5分である。

工事や立ち会いなしに、なぜこうもカンタンに電力会社をチェンジできるのか。

その理由は、今までの送電システムをそのまま使えるからだそう。これは光ケーブルの新規敷設が必要だったインターネットの光回線とは決定的に異なる点だ。さらにいえば、火力発電だろうが自然エネルギーだろうが、そこで作られる電気自体に違いはない。厳密には直流と交流の違いや電圧の差異はあるにせよ、自宅に流れてくる段階ではどれも同じで、水道水とミネラルウォーターほどの違いすらないのだ。

では、電力会社を選んで切り替えるということにどんな意味があるのだろうか。それは、その電力会社がどこから電気を仕入れているかという点。収穫する畑の違い、のようなものだ。たとえばオーガニックフーズ専門店に行けば、農薬や化学添加物とは一切無縁の食品を買うことができる。では、電気はどうなのかという話だ。

ウチの場合、それまでは東京電力から電気を買っていた。そこで東電のウェブサイトにくまなくチェックしてみたのだが、どんな発電で作られた電気なのかを調べることは僕にはできなかった。

では日本全体ではどうなのか。おそらく東電の構成比もそう大きく変わらないはずだ。資源エネルギー庁の「日本のエネルギー2019」(POW JAPANのサイトからだけ)によれば、2017年は火力が80.9%、原子力が3.1%、水力が7.9%、再生可能エネルギーが8.1%とある。

つまり、これまでの自分は、CO2排出量で問題になっている火力発電や、さらに根源的な大問題をはらんだ原子力発電に、いやおうやく加担していたことになる。え、ちょっとそれはすごくイヤだなあと思っても、選択の余地はなかったのだ。

2016年にスタートした電力自由化以来、電力会社を自由に選べるようになった。その結果、ソーラーや風力、バイオマス、地熱といった再生可能エネルギー——なぜ「自然エネルギー」ではだめなんだろう、わかりにくいよね——を扱う電力会社が全

POW JAPANの「自然エネルギー切り替えキャンペーン」は7月末で終了しているが、サイトは健在。濃い情報がわかりやすく、気になる人はぜひ!

国に数多く誕生した。あとは速やかに再エネを扱う電力会社に切り替え、お望み通り、火力発電や原発に依存しないクリーンな電化生活をスタートさせればいいはずだった。

けれども、どの電力会社がベターな選択なのかはイマイチ判断できずにウジウジしていた。これは選挙前の候補者選びとよく似ている。調べれば調べるほど、より良い解がわからなくなるのだ。そんなときにPOW JAPANのキャンペーンが立ち上がり、僕の背中を押してくれたというわけだ。

もちろん、メガソーラーの乱開発による環境破壊や、風力発電の騒音や低周波、景観への影響などひと筋縄でいかない問題を抱えていることは理解している。けれどもそれは運用面での課題であって、太陽光や風力による発電そのものが悪いわけではない。少なくとも、できあがるまでに数億年かかる化石燃料をバカスカ燃やす火力発電や、放射能汚染という多大なリスクをはらんだ原子力発電などの諸問題に比べれば、解決の糸口は見つけやすいはずだ。

ちなみに、ひとり当たりのCO2排出量の内訳では、半分近くを占める電気がダントツで、その削減には再生可能エネルギーへの切り替えがクルマに乗らない生活の倍近く、家電の省エネの4倍近くも効果的だそう。そこまでわかれば再生可能エネルギーに切り替えない手はない。なのでまずは申し込んでみて、気になることがあればその時点でまた切り替えればいいと思う。なにせ、実働5分とカンタンなのだから。

あっけないほどカンタンだった 自然エネルギー切り替え顛末記

てらくらちから ● Fall Line 編集長。新たに契約した電力会社からの請求まであと数日という時点で、このコラムの校了日がやってきた。切り替え時のシミュレーション通り、100円前後安くなったかどうかが分かれば、原稿の説得力も増したかも……